



かんわ
緩和すだちくん

てきおう
適応すだちくん

徳島県危機管理環境部 グリーン社会推進課

〒770-8008 徳島市西新浜町2丁目3-102
環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)
TEL (088) 663-5371 FAX (088) 633-5380



令和4年度

とくしま 環境学習 フォーラム

日時

2023年 2/8(水)
13:30~16:20

場所

徳島県立総合教育センター ホール

プログラム

• 13:30 …… 開会・挨拶 徳島県危機管理環境部 グリーン社会統括監兼副部長 **久米 明德氏**

• 13:35 …… **基調講演** 演題 **未来を拓く子どもたちを育てるために
～地球環境の現状と脱炭素社会の創造へ向けて～**

講師 東京大学未来ビジョン研究センター教授・
国立環境研究所 地球システム領域 上級首席研究員 **江守 正多氏**

• 15:00 …… 休憩

• 15:10 …… **「とくしまGXスクール」認定証交付**

• 15:15 …… **活動取組発表** 令和4年度「スーパーとくしまGXスクール」
指定校による実践活動の発表

● **ゴミを味方に!
ゼロウェイスト隊!**
上勝町立上勝小学校



● **未来につなぐ環境教育
一環境に配慮した新しいビジネス—**
徳島県立徳島商業高等学校



● **海を守るために
自分たちができること**
松茂町立長原小学校



● **放置竹林を整備することによって
生み出される好循環について**
徳島県立阿南光高等学校



• 16:15 …… 講評・挨拶 徳島県教育委員会教育次長 **生田 雅和氏**

• 16:20 …… 閉会

基調講演

演題 **未来を拓く子どもたちを育てるために
～地球環境の現状と脱炭素社会の創造へ向けて～**

講師 東京大学未来ビジョン研究センター教授・
国立環境研究所 地球システム領域 上級首席研究員 **江守 正多氏**



講師紹介

東京大学大学院総合文化研究科博士課程にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所に勤務。地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長などを経て、2021年に地球システム領域副領域長。連携推進部社会対話・協働推進室長を兼務。東京大学総合文化研究科客員教授。2022年より現職。専門は気候科学。

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次および第6次評価報告書の主執筆者。著書に「地球温暖化の予測は「正しい」か?」「異常気象と人類の選択」など。2021年9月発売の「最近、地球が暑くてクマってます。」(著者:水野敬也氏・長沼直樹氏)では監修を務めた。

スーパーとくしまGXスクール

徳島県教育委員会では、脱炭素社会の実現に向け、「持続可能な社会の創り手」を育成するため、環境負荷の低減や自然との共生に継続的に取り組む「とくしまGXスクール」を認定しています。その中から、「スーパーとくしまGXスクール」として指定された学校は、大学等と連携しながらSDGsの学習に先進的に取り組み、児童生徒一人ひとりの意識改革と行動変容を促すための新たな環境学習プログラムを開発し、その成果を他の学校に広く普及することを目指しています。

● 上勝町立上勝小学校

ゴミを味方に!ゼロウェイスト隊!



「ゼロ・ウェイスト宣言」のまち上勝町では、町民一人一人がごみ削減に努めリサイクル率80%以上を達成し、2030年に向けて新たにゼロ・ウェイスト宣言を採択しました。新しい宣言では、2030年までの重点目標として「未来のこどもたちの暮らす環境を自分の事として考え、行動できる人づくり」を掲げています。本校では、毎年4年生が総合的な学習の時間を中心に「ゼロ・ウェイスト」について学習しています。今年はゴミに対する考え方をネガティブなものからポジティブなものに変えるように、「ゴミを味方に!ゼロウェイスト隊!」のテーマで環境学習を進めてきました。まず、ゼロウェイスト・センターの見学からゴミ処理の現状や環境問題に関する課題をもちました。そして、ゴミの種類や行方、リサイクルを探る活動や、栽培した野菜を調理する活動から無駄をなくすことで、自分たちの生活を豊かにしたり、楽しくしたりすることができることを知りました。私たちが学んだ、ゴミに対する考え方や生活の仕方を見直し、未来の暮らしのために主体的に行動し、いろいろな人と交流することの大切さについて発表します。

● 松茂町立長原小学校

海を守るために 自分たちができること



長原小学校は、今までに、「新 学校版環境ISO」認定校として、環境を大切にすることを続けてきました。本年は、新たに「スーパーとくしまGXスクール指定校事業」を受け、長原の「海岸清掃」を中心とした学習活動を展開しています。全児童7名と教職員とで、月に2回程度、朝の活動の時間に、学校のすぐ側に広がる海岸のゴミを拾っています。

主なゴミは、ペットボトルやプラスチック。15分ほどで、大量のゴミを拾うことができます。学校に持ち帰ったゴミは、大型計量器で重さを測り分別しています。

このような一連の活動の中で、子どもたちは、様々な疑問や気付きをもちました。海岸になぜこんなにゴミが落ちているのか、海洋ゴミの影響とは、3Rの大切さ等々。自分たちの疑問や気付きを深めるため、子どもたちは、上勝町のゼロウェイスト・センターを見学したり、ゴミアートを制作したり、ゲストティーチャーのお話を聞いたりしました。

そして、今、子どもたちは何を考え何をしようとしているのか。5年生4名の子どもたちが、自分たちの気付きと学びを発表します。

未来につなぐ環境教育 —環境に配慮した新しいビジネス—



本校では、昨年度より環境教育や環境ビジネスについての調査・研究を行い、GIGAスクール環境で活用できる教材などを作成してきました。ゼロ・ウェイスト宣言(ごみを無駄なく資源化)を行っている上勝町に着目し、事業者と消費者と行政が連携を行い、これらの取組を社会全体としての基盤の1つとして持続可能なGXの実現に向けて取り組んできました。今年度は、「食品ロス」と「地域産業の活性化」を取り入れ、経済産業省STEAMライブラリーなどを活用し、GIGAスクール環境を利用して高校生が地元小中学校の出前授業などを行い、未来につなぐ環境教育ができる人材育成を行いました。また、当たり前に使われ、廃棄されていた物を改めて見直す機会が今の世の中で必要であり、「食品ロス」をテーマに、廃棄されるような食材を使った商品を地元産業と協力して開発を行い、マツシゲートで販売しました。また、連携は地元企業だけではなく、沖縄県立北部農林高校(オリオンビールから出る酵母を活用したパンズ)や松茂町立長原小学校(海岸清掃作業)と連携した取組についても紹介します。

放置竹林を整備することによって生み出される好循環について



本校では平成27年度から、放置竹林から伐採した竹を活用したもののづくりをしています。その代表例が防災懐中電灯「ぼてっとライト」です。伊島と出羽島の全世帯や阿南市内の福祉施設などに無償配布することに加え、平成28年度からは阿南市内の中学校の技術教材として使用されています。教材を提供するだけでなく、学校へ出向いて組み立ての出前授業も行っています。その際には放置竹林問題について説明を行っています。

▶ 本日は「ぼてっとライト」を中心に、なぜ放置竹林が問題なのか、放置竹林の竹の利用方法、環境負荷の低い製品作り、どう雇用を生むかといった内容を紹介します。

MEMO

児童生徒の環境意識の醸成を図るとともに、地域の協力を得ながら、その特性や資源を活かした環境学習の実践に対して支援を行い、その活動を促進し、成果を全県に広げていくものです。

持続可能な社会づくりをめざし、豊かな心で学び続ける子どもの育成



▶ 本校区は、自然環境に恵まれ、四季折々の自然の姿に親しむことができます。本年も環境委員会が推進リーダーとなり、「とくしまGXスクール」の行動内容に基づいて、全児童と教職員で活動を進めました。環境委員会は、食品トレイや資源ゴミの回収、本校の環境活動や、今、国際社会で直面している環境問題を考えるビデオを作成し、啓発をしました。環境掲示板には、食品トレイの回収枚数や水道の月別使用量、各学年の環境学習やSDGsカルタ、本校区の自然の風景に季節の言葉や色を添えて掲示しました。全校的にゴミは減量し、分別の意識も高まりました。今後も、自然を慈しみ、環境を敬い、自ら行動する活動を継続していきます。

● 徳島市渋野小学校

SDGsの視点から見直すアドプト・プログラム



▶ 本校では、SDGs達成に向けて様々な活動を行っています。アドプト・プログラムもそのひとつで、2002年度から参加しています。アドプト・プログラムとは吉野川と養子縁組することで吉野川流域の自然を守り、清掃ボランティアを通して身近な環境、生命の尊重を考えることを目的としています。

このアドプト・プログラムをSDGsの視点で見直すことで、一人ひとりが、環境について、まず生活の場である地域社会の中で考え、具体的な行動を起こしていくことの必要性を感じました。そこで、主体的に地域の資源ゴミ回収のボランティアに参加したり、生徒会によるアルミ缶回収も行ったりしています。

● 阿波市立吉野中学校

「カーボンニュートラル」の未来社会を考える



▶ 9月からフィンランドの高校生が来ています。フィンランドはEU加盟国の中でも地球温暖化対策の先進国なので、環境への取組について驚かされるがたくさんあります。

そこで私たち生徒会が中心となって、代表者と留学生との座談会のやり取りを動画に収録し、北高の全員で環境意識を高められる学習動画の制作に取り組みました。

地球温暖化対策は地球上のすべての人が取り組むべき喫緊の課題で、日本を含む120カ国が2050年までに温室効果ガス実質ゼロの宣言をしています。高校生の私たちも、GX(グリーン・トランスフォーメーション)を推進し、誰もが暮らしやすい未来社会づくりに向けて行動を起こしていきます。

● 徳島県立徳島北高等学校(生徒会)

守りたい!大切なふるさと大野を



流れも清き那賀川と広がる豊穡田に囲まれた自然豊かな大野。那賀川の水質検査やアユの産卵場所をつくる活動、校区のゴミ拾いなど、町の美しさを守りたいという思いをみんながもっています。今までの活動の中で、川にあるゴミ、町にあるゴミ、そして誰もが出しているゴミの行方について知りたかったです。

そこで今年度は3・4年生で「エコパーク阿南」に見学に行くことにしました。まずゴミの量に驚きました。また、分別の大切さに気づかされました。そしてゴミは、大切な資源としても使われていることを知りました。

未来の大野を守るために、これからも環境について学び続けていきたいと思っています。

私たちの由岐の海を守ろう



本校は、学校の目の前がある海を生かして、海と関わる教育活動を行っています。活動の一つとして、海岸清掃を行っています。今年度は、田井ノ浜、由宇ノ浜で清掃活動をしました。この活動の中で、児童は「ゴミは環境を破壊するだけでなく、海に遊びに来る人も減らしてしまう。」ということに気がきました。

また、海洋ゴミを造形作品として再利用する活動にも取り組みました。児童は、作品を造りながら、海洋ゴミに海外の物が混じっていることに気づきました。ゴミは遠くから海を渡り流れてくるので、自分たちもゴミを海に捨てないようにしようという決意を新たにしました。

体験!発見!穴小環境プロジェクト



穴喰地区の竹ヶ島は、エダミドリイシサンゴが生息している海域公園のある島で有名です。地域は、サンゴを守るための自然環境再生活動等を行っています。穴喰小学校では、身近な竹ヶ島の自然環境について、次のような活動をしています。

3・4年生では、磯観察や環境調査をして掲示物等で情報発信しています。5年生では、サンゴの知識を学び地域の方と保全活動に参加しています。6年生では、スノーケリングをして、移植したサンゴの観察をします。また、全校では海岸のゴミ清掃をする等、自分たちができる環境保全活動を継続しています。

誇れるふるさと 西祖谷の自然を守る!



祖谷のかずら橋や四季を豊かに感じられる自然は、ふるさと西祖谷の誇りです。そのふるさとを将来に渡って守っていく一翼を担うために、「シラクチカズラの植樹」と「祖谷川の水生物の観察」を行いました。「シラクチカズラ」は、「かずら橋」の材料となるものですが、近年はその確保が難しくなっています。その「シラクチカズラ」をはじめ、西祖谷の自然の源が祖谷川です。「祖谷川の水生物の観察」では、きれいな水にしか生息しない「ヒラタカゲロウ」などが確認できたほか、「アカゲ」（絶滅危惧種）も発見できました。

この西祖谷の自然を守るため、さらに考え活動を続けます。

とくしまGXスクール認定校

脱炭素社会実現に向け、「持続可能な社会の創り手」を育成するため、環境負荷の低減や自然との共生等、従来の「新 学校版環境ISO」の取組に加え、環境とSDGsの関わりを意識した取組を実践する学校を本県独自に、「とくしまGXスクール」として認定するとともに、児童一人ひとりの意識改革と行動変容を促し、小学校段階から高等学校段階まで一貫した取組を推進します。

小学校

徳島市八万小学校	小松島市立江小学校	三好市立芝生小学校
徳島市論田小学校	阿南市立横見小学校	三好市立箸蔵小学校
徳島市方上小学校	阿南市立宝田小学校	三好市立白地小学校
徳島市宮井小学校	阿南市立大野小学校	三好市立馬路小学校
徳島市洪野小学校	阿南市立長生小学校	三好市立三縄小学校
徳島市不動小学校	阿南市立桑野小学校	三好市立山城小学校
徳島市入田小学校	阿南市立新野小学校	上勝町立上勝小学校
徳島市応神小学校	阿南市立新野東小学校	石井町浦庄小学校
徳島市南井上小学校	阿南市立今津小学校	美波町立日和佐小学校
鳴門市撫養小学校	吉野川市立西麻植小学校	美波町立由岐小学校
鳴門市桑島小学校	吉野川市立高越小学校	海陽町立穴喰小学校
鳴門市里浦小学校	阿波市立柿原小学校	松茂町立長原小学校
鳴門市堀江南小学校	阿波市立御所小学校	藍住町立藍住東小学校
鳴門市板東小学校	阿波市立伊沢小学校	板野町立板野東小学校
小松島市南小松島小学校	阿波市立林小学校	板野町立板野南小学校
小松島市児安小学校	美馬市立江原南小学校	上板町立松島小学校
小松島市芝田小学校	美馬市立脇町小学校	つるぎ町立太田小学校

中学校

徳島市加茂中学校	阿南市立加茂谷中学校	三好市立池田中学校
徳島市不動中学校	阿南市立福井中学校	三好市立山城中学校
鳴門市第一中学校	阿波市立吉野中学校	三好市立井川中学校
鳴門市第二中学校	阿波市立市場中学校	三好市立西祖谷中学校
鳴門市瀬戸中学校	美馬市立江原中学校	勝浦町立勝浦中学校
鳴門市大麻中学校	三好市立三野中学校	上板町立上板中学校

高等学校・特別支援学校

城南高等学校	富岡東高等学校(全)	脇町高等学校
徳島北高等学校	富岡東高等学校(定)	池田高等学校辻校
徳島市立高等学校	富岡東高等学校羽ノ浦校	池田高等学校三好校
徳島商業高等学校	阿南光高等学校	ひのみね支援学校
徳島中央高等学校(定夜)	海部高等学校	みなと高等学園
徳島中央高等学校(定昼)	鳴門高等学校(定)	阿南支援学校ひわさ分校
小松島高等学校	名西高等学校(全)	
小松島西高等学校	名西高等学校(定)	